

全国ふりかけ協会総会

全国ふりかけ協会は、このほど、東京都中央区で臨時総会を開き、

タバの「御飯の友」が

続くと認め

た。「旅行の

友」は193

2(昭和7)

「四日市市大博覧会」

に出展していた。商品

の開発、発売年は互い

に口伝であり、元祖を

協会認定せず、双方

で継承してもらう。

田中食品の「旅行の

友」は1932年に全

国規模の品評会の「審

州国建国記念館」に表

彰状が印刷されてい

た。日付の印字がつぶ

れて解説できなかった

が、「審査会」でほかに

受賞した北海道の三石

羊羹、三重県の御福餅

に連絡。両社の32年の

入賞を確認した。

かけ開発、16(大正5)

年の一般発売、フタバ

の12(大正元)年のふ

りかけ開発、13(大正

2)年の創業に直接の

史料はなく、元祖認定

は行わなかった、今後

も互いで社史を伝えて

もらう。

年8月の総会で諮っ

た。最古の史料が「旅

行の友」で続くのが

「御飯の友」と認めた。

会員間の意見を調整

し、発表に至った。

総会では前会に未提

出だった24年予算も承

認した。実践女子大学

名誉教授で日本食品衛

生協会学術顧問の西島

基弘氏を迎え、「食の

安全性を考える」講演

会も開いた。保存料や

酸化防止剤などの添加

物は品質を保ち、使用

基準は複合摂取の影響

もない微量。有害性論

争はフェイクニュース

によるもので官公庁、

協会など複数の情報で

科学知識、判断力を高

めるべきと学んだ。

(吉岡勇樹)

田中食品「旅行の友」史料が最古

フタバの「御飯の友」が続く

年に「全国優

良製産品審査

会」で表彰さ

れ、商品に印

字していた。

「御飯の友」

は36(昭和11)

年に三重県の

「審査会」で「有功金賞牌」

と表彰されていた。実

際の賞状は本社のある

広島市の原爆で焼失。当

時の「旅行の友」の「満

フタバの「御飯の友」

は四日市市役所が19

36年3月に開いた、

博覧会の会誌に「旅行

の友」とともに登場。

展示会への出品を始め

ていた。田中食品は01

(明治34)年に創業。

04(明治37)年のふり

協会は1994年に

フタバの「御飯の友」

を元祖と認定したが、

田中食品を除外した調

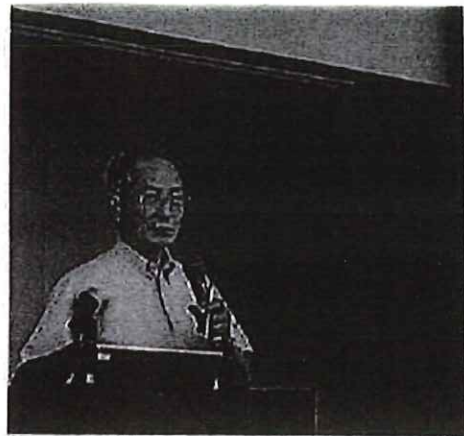
査の不正を認めた。

認定を2022年6月

に取り下げ、田中食品

から発案された元祖の

再調査、結果確認を23



総会後に実践女子大西嶋基弘名誉教授が講演、添加物の有害論争に惑わされない科学知識を学んだ